

第1回名寄市保健医療福祉推進協議会地域福祉部会（顛末）

日時 令和3年7月7日（水）10：00～10：40

場所 名寄市役所名寄庁舎 4階大会議室

出席委員

笹原委員、尾谷委員、小川委員、大石委員、姉崎委員、木田委員、
中村委員、小笠原委員 8名

欠席委員

大野委員、藤原委員、小泉委員、高橋委員 4名

事務局

小川部長、松田課長、福井係長、内田主事、遠藤事務員 5名

- 1 開会
松田社会福祉課長の進行により開会
- 2 委嘱状交付
加藤市長より委員委嘱状を交付
- 3 市長挨拶
加藤市長挨拶
- 4 部会長及び副部会長選出
委員の互選により選出
部会長：笹原博幸委員
副部会長：尾谷和久委員

笹原部会長挨拶、尾谷副部会長挨拶

- 5 議事【議長：部会長】
報告第1号 地域福祉計画の概要
報告第2号 第3期名寄市地域福祉計画の策定スケジュール
(事務局：資料事前送付により報告及び当日補足説明)

名寄市地域福祉計画は名寄市総合計画の中の福祉分野をとりまとめる計画の位置づけであり、名寄市における福祉分野の個別計画を束ねるものとなります。

そのため、地域福祉計画は名寄市における福祉の方向性を決めるものとなり、各種の政策や達成目標などは、分野ごとの個別計画において設定をし、推進していくこととなります。

また、社会福祉協議会が策定する名寄市地域福祉実践計画と連携をはかりながら、当市の福祉を推進していくこととなります。

【質疑応答】

(A 委員)

本来であれば、社会福祉協議会が策定する名寄市地域福祉実践計画の策定年ですが、新型コロナウイルスの影響により各種イベントを中止している現状で、先が見えない中で計画を策定することは困難であると考え、令和3年度中の策定は見送ることで考えています。

今回のアンケート調査結果については、名寄市地域福祉実践計画策定時の基礎資料として使用予定です。

(部会長)

策定スケジュールに名寄市地域福祉実践計画について記載がなかったのが疑問に思っていたが、A委員の説明で了解しました。

(B 委員)

報告第1号「計画策定の基本的な考え方」の中に、「名寄市立大学と連携し策定」とあるが、どのようなイメージですか？

(事務局)

部会委員に名寄市立大学社会福祉学科講師の小泉氏に入っています。小泉氏は、社会福祉協議会の地域福祉部会委員もされており、名寄市立大学、社協、行政を含め連携しながら策定を進めていけるものと考えています。

協議第1号 第3期名寄市地域福祉計画・第5期名寄市地域福祉実践計画
策定のためのアンケート調査について

(事務局：説明)

アンケートの素案について、前回アンケートとの比較をすることを考慮し、第2期計画時に実施したアンケートを基本に作成をしています。

追加項目として、災害時における地域の支援や連携についての設問を加えております。

設問数も絞り、答えやすく回収率が上がるよう工夫をしています。

【質疑応答】

(C 委員)

前回アンケートとの比較、災害項目の追加は良いと考えます。

本計画に対しての満足度、市民の認知度を図る設問などがあれば良いのではと提案します。

(A 委員)

第2期計画策定時にアンケート内容の検討を行った際、回答内容によってすべきことが変わらない設問は省いた経過があります。(周知等は必ずしなければならない事項であり、回答内容によって変わるものではない。)

また、満足度の設問は、その方向(満足)に向かうべきものであるため、前回アンケート時にも必要性を議論した経緯があります。

(D 委員)

満足度などは、総合計画等で図っていませんか？

(事務局)

総合計画でも満足度の調査はしていません。個別計画の中で詳細な調査や検討は行っています。本計画は福祉分野の個別計画を束ねる計画の位置づけとして進めていきたいと考えます。

一同承認

(E 委員)

SNSの質問は、今の時代に合っていて良いと思う。コロナ禍で困っていることを伺う設問を、追加してはいかがでしょうか。

(事務局)

他の計画において感染症対策について網羅していること、また、本計画は個別計画を束ねる計画であるため、内容を絞った設問は設けない方向で進めることでいかがでしょうか。

一同承認

(A 委員)

問16「〇は1つ」ではなく複数にするなど、設問の検討が必要とおもわれますが、社会福祉協議会と名寄市が相談して決めることでいかがでしょうか。

一同了承

(C 委員)

アンケートの趣旨がわかるように工夫をお願いします。

(部会長)

回答者がアンケートの趣旨を理解し、回答しやすいアンケートになるよう進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

6 その他
なし

7 閉会
笹原部会長により閉会